

開催日時 開催場所	2026年 3月 13日(金曜日) 14時 15分 ~ 14時 45分 国立病院機構呉医療センター 地域医療研修センター第三
出席委員名	○ 讃岐美智義 立川隆治 杉野浩 倉岡和矢 郷原涼子 田中光照 寺尾秀二 廣瀬肇 戸谷敦子 太刀掛祐之 (敬称略 ○: 委員長)
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p>議題1. 治験実施計画書等の変更</p> <p>① ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼によるPD-L1陽性で未治療の手術不能な局所進行又は転移性トリプルネガティブ乳癌を有する患者を対象としたSacituzumab Govtscanの第Ⅲ相試験</p> <p>審議内容 治験薬概要書又は治験使用薬に係る最新の科学的知見を記載した文書の変更について、妥当性及び治験継続の適否を審議した。</p> <p>審議結果 承認</p> <p>② 中等症から重症の活動期の潰瘍性大腸炎患者を対象とするグセルクマブ皮下投与による導入療法の有効性及び安全性を評価する第3相試験</p> <p>審議内容 治験実施計画書および治験薬概要書又は治験使用薬に係る最新の科学的知見を記載した文書の変更について、妥当性及び治験継続の適否を審議した。</p> <p>審議結果 承認</p> <p>③ 急性期脳梗塞の成人患者を対象としたレダセムチド(S-005151)の後期第2相、無作為化、二重盲検試験</p> <p>審議内容 治験薬概要書又は治験使用薬に係る最新の科学的知見を記載した文書の変更について、妥当性及び治験継続の適否を審議した。</p> <p>審議結果 承認</p> <p>④ A randomized, double-blind, multicenter phase III study to evaluate the long-term efficacy and safety of ABX464 25 mg or 50 mg once daily as a maintenance therapy in subjects with moderately to severely active ulcerative colitis. 中等度から重度の活動性を有する潰瘍性大腸炎患者を対象に、維持療法としてABX464 25 mg又は50 mgを1日1回投与した際の長期有効性及び安全性を評価するランダム化、二重盲検、多施設共同、第Ⅲ相試験</p> <p>審議内容 治験薬概要書又は治験使用薬に係る最新の科学的知見を記載した文書の変更について、妥当性及び治験継続の適否を審議した。</p> <p>審議結果 承認</p> <p>⑤ 興和株式会社の依頼によるK-001(ペマフィブラートとトホグリフロジンの併用療法)の第Ⅱ相試験</p> <p>審議内容 治験薬概要書又は治験使用薬に係る最新の科学的知見を記載した文書の変更について、妥当性及び治験継続の適否を審議した。</p> <p>審議結果 承認</p> <p>⑥ 中等度又は高度の肝線維化が認められるNASH/MASH 肝疾患を有する患者にsurvodutide を投与したときの有用性を検証する試験</p> <p>審議内容 治験薬概要書又は治験使用薬に係る最新の科学的知見を記載した文書、その他(被験者の募集の手順(広 告等)に関する資料)及びその他(被験者の支払いに関する資料)の変更について、妥当性及び治験継続の適 否を審議した。</p> <p>審議結果 承認</p> <p>⑦ NASH/MASH 肝硬変の肝疾患を有する患者にsurvodutide を投与したときの有用性を検証する試験</p> <p>審議内容 治験薬概要書又は治験使用薬に係る最新の科学的知見を記載した文書、その他(被験者の募集の手順(広 告等)に関する資料)及びその他(被験者の支払いに関する資料)の変更について、妥当性及び治験継続の適 否を審議した。</p> <p>審議結果 承認</p> <p>⑧ 小野薬品工業株式会社によるONO-1110の第Ⅱ相試験</p> <p>審議内容 治験実施計画書及び説明同意文書の変更について、妥当性及び治験継続の適否を審議した。</p> <p>審議結果 承認</p> <p>⑨ 日本イーライリリー株式会社の依頼によるうつ病患者を対象としたLY3537031の第Ⅲ相試験</p> <p>審議内容 治験実施計画書、説明同意文書及びその他(治験参加者への支払いに関する資料、eCOA、Patient Material)の変更について、妥当性及び治験継続の適否を審議した。</p> <p>審議結果 承認</p> <p>⑩ 日本イーライリリー株式会社の依頼による双極性障害患者を対象としたLY3537031の第Ⅱ相試験</p> <p>審議内容 治験実施計画書、説明同意文書及びその他(治験参加者への支払いに関する資料、Patient Material、評価 表)の変更について、妥当性及び治験継続の適否を審議した。</p> <p>審議結果 承認</p> <p>議題4. 安全性に関する報告</p> <p>① ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による心血管疾患の既往を有する患者を対象としたTQJ230の第Ⅲ相試験</p> <p>② ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼によるPD-L1陰性で未治療の手術不能な局所進行又は転移性トリプルネガティブ乳癌を有する、若しくはPD-L1陽性で早期段階での抗PD-(L)1抗体薬の前治療歴を有する患者を対象としたSacituzumab Govtscanの第Ⅲ相試験</p> <p>③ ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼によるPD-L1陽性で未治療の手術不能な局所進行又は転移性トリプルネガティブ乳癌を有する患者を対象としたSacituzumab Govtscanの第Ⅲ相試験</p> <p>④ 中等症から重症の活動期の潰瘍性大腸炎患者を対象とするグセルクマブ皮下投与による導入療法の有効性及び安全性を評価する第3相試験</p>

	<p>⑤ 小野薬品工業株式会社の依頼による部分発作を有する日本人てんかん患者を対象としたONO-2017(Cenobamate)の第Ⅱ相試験</p> <p>⑥ 発症後間もない急性冠症候群患者を対象に経口第Ⅺa因子阻害剤Milvexianの有効性及び安全性を評価する第3相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対象、event-driven試験</p> <p>⑦ 中等度から重度の活動性を有する潰瘍性大腸炎患者を対象に、維持療法としてABX464 25 mg又は50 mgを1日1回投与した際の長期有効性及び安全性を評価するランダム化、二重盲検、多施設共同、第Ⅲ相試験</p> <p>⑧ 興和株式会社の依頼によるK-001(ペマフィブラートとトホグリフロジンの併用療法)の第Ⅱ相試験</p> <p>⑨ 中等度又は高度の肝線維化が認められるNASH/MASH 肝疾患を有する患者にsurvodutide を投与したときの有用性を検証する試験</p> <p>⑩ NASH/MASH 肝硬変の肝疾患を有する患者にsurvodutide を投与したときの有用性を検証する試験</p> <p>⑪ ICONクリニカルリサーチ合同会社(治験国内管理人)の依頼による胃腺癌又は食道胃接合部腺癌を対象としたIBI343単剤療法と治験責任医師が選択した治療を比較する第Ⅲ相試験</p> <p>⑫ Gel-Oneの変形性股関節症患者を対象とした多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照第Ⅲ相比較試験</p> <p>⑬ 小野薬品工業株式会社によるONO-1110の第Ⅱ相試験</p> <p>⑭ 日本イーライリリー株式会社の依頼による1型糖尿病患者を対象としたLY3298176の第Ⅲ相試験</p> <p>⑮ ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社の依頼による統合失調症と診断された急性精神病症状を有する日本人成人患者を対象としたKarXTの有効性及び安全性を評価する第3相、2パート試験</p> <p>⑯ (治験国内管理人)IQVIAサービシズジャパン合同会社の依頼による、症候性慢性心不全(rEF)を対象とした第Ⅲ相試験</p> <p>⑰ 日本イーライリリー株式会社の依頼によるうつ病患者を対象としたLY3537031の第Ⅲ相試験</p> <p>⑱ 日本イーライリリー株式会社の依頼による双極性障害患者を対象としたLY3537031の第Ⅱ相試験</p> <p>⑲ ノバルティス ファーマ株式会社の依頼による心血管疾患の既往を有する患者を対象としたpelacarsen(TQJ230)の第Ⅲ相試験</p> <p>審議内容: 以上、依頼者より報告された安全性情報について責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性を審議した。</p> <p>審議結果: 承認</p>
	<p><b>【報告事項】</b></p> <p>以下の事項について報告された。</p> <p>① アストラゼネカ株式会社の依頼による非肝硬変非アルコール性脂肪肝炎患者を対象としたAZD2693の第Ⅱ b相試験 報告内容: 開発中止等に関する報告書</p> <p>① リュープリンSR注射用キット11.25mg特定使用成績調査</p> <p>② ゼジューラ特定使用成績調査</p> <p>③ カログラ錠120mg特定使用成績調査</p> <p>④ リンヴォック錠特定使用成績調査 報告内容: 終了報告書</p>